

NEWS RELEASE

2016年11月21日

救急医療・災害対応におけるIoT利活用モデル実証事業への クラウドセキュアサーバサービス提供開始のお知らせ

当社は、総務省の「IoT サービス創出支援事業」の採択事業の1つである「救急医療・災害対応におけるIoT利活用モデル実証事業」に関する実証実験へのクラウドセキュアサーバサービスの提供を開始いたしました。

この実証事業は、2016年7月末から、一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会（略称：EDAC、所在地：東京都文京区）が主催する「救急医療・災害対応におけるIoT利活用推進コンソーシアム」が実施しているもので、当社はそのメンバーとして参画しております。

2016年10月末より、福岡市内の九州大学伊都キャンパスにて本事業の一環として実証実験が開始されました。主な実証実験の内容は以下のとおりです。

- ・ウェアラブルデバイス等を活用した模擬心停止の早期認識による通報
- ・無人機（ドローン）を活用した迅速な現場特定による傷病者に接触するまでの時間短縮
- ・無人機やセンサー等の情報、バイタルサインをはじめとした、パーソナルデータ等のヘッドマウントディスプレイへのAR表示
- ・無人機を活用した迅速な被害状況の把握による必要な消防力の早期投入

これらのシステムは、クラウド上に配備された当社のセキュアサーバサービスを利用して構築が行われております。

当社は、40年以上にわたり、金融や航空、電力、ガスといった重要インフラを中心に、ソフトウェア開発やシステム運用、インフラ構築、情報セキュリティ設計・導入を行っております。豊富な経験に裏付けられた確かなノウハウを活かし、本実証実験におけるITプラットフォームおよびセキュリティの面で継続的な支援を行ってまいります。

今後も、当社はEDACとの連携を推進し、最新のセキュリティノウハウと最適なソリューションを提供することで、最先端のIoTサービスが普及する社会において「救える命を救える社会」の実現に貢献してまいります。

以上